

2014年(平成26年)度 第5回常務理事議事録

日時：2014年(平成26年)12月20日(土) 11:00～13:55

場所：八重洲ダイビル 第1会議室

出席者：河田光博(理事長)、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊士、渡辺雅彦(以上常務理事)、
松崎利行、阪上洋行(以上常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

(1)2014年(平成26年)度第4回常務理事会(平成26年9月20日開催)議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告された。

平成26年9月分

入会者：正会員 6名、学生 5名

退会者：正会員 3名、学生 3名、永年会員 1名

平成26年10月分

入会者：正会員 6名、学生 16名

退会者：正会員 3名、学生 1名

平成26年11月分

入会者：正会員 2名、学生 1名

退会者：学生 2名

逝去会員 2名

田中 重徳氏(金沢大学・名誉教授・永年会員)(享年69)

島村 英理子氏(金沢医科大学・分子細胞形態科学・正会員)(享年41)

新規就任教授

柴田 昌宏 先生(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座神経解剖学分野・教授・
平成26年9月1日就任)

森本 景之 先生(産業医科大学医学部第2解剖学講座・教授・平成25年6月1日就任)

(2) 申請による代議員の申請状況について

資料に基づき、平成26年度申請による代議員申請が11名あったことが報告された。

(3) 学会宛文書について

資料に基づき、以下の通り報告された。

① 通知・依頼：IMIシンポジウム事務局より「IMIシンポジウム開催のお知らせ」他53件

② 書籍・定期通信 他：日本医学会より「第17回公開フォーラムDVD」他20件

(4) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、4月以降の男女共同参画学協会連絡会の活動報告として、①第3回運営委員会(平成26年6月24日開催)における男女共同参画学協会連絡会の規約改正、②第12回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムでの日本解剖学会の男女共同参画推進への活動報告内容、③日本医師会「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」(平成26年9月26日開催)への今城純子先生(防衛医科大学)の参加が報告された。

(5) 日本外科学会CSTガイドライン委員会報告

資料に基づき、①CSTガイドライン委員会に、日本解剖学会より岩永敏彦先生(北海道大学)、内山安男先生(順天堂大学)、菊田彰夫先生(産業医科大学)、渡辺雅彦先生(北海道大学)の4名を推薦したこと、②第1回、第2回CSTガイドライン委員会での議事内容が説明され、日本解剖学会から要望した日本外科学会以外の関連学会へのガイドラインの周知を、日本医学会連合を通じて行う方向で検討していることが報告された。

(6) 次期役員選挙結果について

資料に基づき、平成26年11月17日に選挙管理委員会で行われた2015/2016年度役員選出選挙の開票結果が報告された。

(7) 会員名簿作成について

資料に基づき、会員名簿2016の発刊の概要とタイムスケジュールについて説明され、平成27年12月の名簿発送に向けて作業を進めていることが報告された。名簿掲載機関の名称やURLの学会ホームページへの公開の要望が出され、今後検討することとした。

(8) その他

特になし。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌広告集稿委託先の変更について

資料に基づき、解剖学雑誌広告集稿委託先であった株式会社大矢商会の廃業に伴う財産状況報告集会（平成26年11月20日、東京地方裁判所）内容が説明され、大矢商会からの未収金（67,200円）に関して、今後、売掛金と認否留保分を確定させ、次回の財産状況報告集会（平成27年2月19日予定、東京地方裁判所）で、債権者への配当方法が説明される予定であることが報告された。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（仲嶋企画・渉外担当理事）

(1) 平成26年度奨励賞について

資料に基づき、賞・研究費候補者選考委員会（平成26年12月13日開催）における選考の結果、平成26年度奨励賞に4名が選出されたことが報告された。また、次年度以降の奨励賞申請書の形式の変更点とASI編集委員長 依藤宏先生から提案のあった奨励賞英語表記の変更について説明され、了承された。

(2) 2015(平成27)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、演題数、学会日程、予算内容などの準備状況が報告された。

(3) 2016(平成28)年度総会・全国学術集会開催日程について

資料に基づき、第121回日本解剖学会総会・全国学術集会の①開催期日と場所（平成28年3月28日～30日、ビックパレットふくしま）②運営組織 ③大会内容の概要（大会方針とテーマ）④篤志解剖全国連合会（平成28年3月26日～27日、ビックパレットふくしま）に関する準備状況が報告された。

(4) 一級ならびに二級技能士審査結果について

資料に基づき、解剖組織技能士資格審査委員会からの平成26年度一級解剖組織技能士資格審査試験（平成26年9月20日試験実施）の結果（合格者 2名）が報告された。なお、次回以降の試験は、原則として応募者の大学に試験運営委員長が出向いて実施することが説明された。

(5) 日本医学会報告

資料に基づき、日本解剖学会より寺田理事を日本医学会連合の財務委員会に委員として推薦したことが報告された。また、第1回日本医学会連合財務委員会（平成26年10月15日開催）に寺田理事が出席し、来年度以降の予算規模の拡大に伴い学会分担金負担が増加する可能性があること、日本医学会連合は基礎部会と臨床部会の交流強化を図る事業により分担金負担に見合った利益を享受できるように検討していることなどの報告・審議がなされたことが説明された。仲嶋理事より、寺田理事が本財務委員会の構成委員のなかで唯一の基礎部会からの構成委員であることを鑑みて、他の基礎部会に情報を提供し共有する必要性が指摘された。

(6) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、①2020年IBO・JB0（国際生物学オリンピック）の日本での開催決定、②第10回定例会議での平成27・28年度次期代表選挙の結果（中野明彦先生の選出）、③平成25年度決算報告、④教科書問題検討委員会が取りまとめた各学会からの意見に関する報告内容、⑤第2回ポストク問題検討委員会で取りまとめた問題点と解決策への提言内容に関して報告された。

(7) 脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、①第3回評議員会において、水澤英洋先生（国立精神・神経医療研究センター）が代表に、本学会選出評議員の岡部繁男先生（東京大学）が副代表に選出されたこと、②脳科学将来構想委員会の委員選出に関して報告された。

(8) その他

海外交流委員会による海外交流実態調査のためのアンケートが近々実施される予定で準備中であることが報告された。

4. 会計報告（寺田会計担当理事）

(1) 支部学術集会決算について

資料に基づき、第60回東北・北海道連合支部学術集会と第24回関東支部懇話会の収支決算報告書の内容が説明された。

(2) 平成26年度中間決算書について

資料に基づき、11月次会計執行状況が説明され、概ね例年通りの会計運用状況であることが報告された。また、平成26年度第4回常務理事会で承認された基本財産の特約付自由金利型定期預金（ミックス特約付）への変更（平成26年10月15日）と契約締結時交付書面内容が説明された。

(3) その他

特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について（庶務）
資料に基づき審議した結果、36名の新規入会が承認された。
2. 名誉会員・永年会員の推薦について（庶務）
資料に基づき審議した結果、永年会員推薦の対象者27名が承認され、理事会に諮ることとした。
3. 委員会主催の全国学術集会におけるワークショップ、シンポジウムへの開催補助について（庶務）
資料に基づき、男女共同参画推進委員会が主催する「第2回男女共同参画推進ランチョンセミナー」の開催に関する補助金申請内容が説明され、審議の結果、承認された。また、第120回総会・全国学術集会で開催予定の海外合同シンポジウムに関して、日韓、日中合同シンポジウムは特別事業積立金より、日独合同シンポジウムは一般会計の「海外交流関係費」より拠出することが説明され、審議の結果、承認された。
4. 解剖体を用いた研究倫理指針について（庶務）
資料に基づき、これまで理事会で審議された「解剖体を用いた研究倫理指針」の最終案が説明され、審議の結果、承認された。
5. 利益相反に関する規程、ならびに委員会設置規程一部改正制定について（庶務）
資料に基づき、本学会で来年度より実施する利益相反に関する規程（案）、マネージメントフロー、提出フロー、および利益相反状況申告書、利益相反委員会の常置委員会としての設置に関して説明され、審議の結果、承認された。また、河田理事長より、平成27年度総会・全国学術集会での利益相反に関する自己申告方法が説明された。
6. 申請による代議員について（庶務）
資料に基づき、平成26年度申請による代議員申請者に関して審議の結果、承認され、理事会に諮ることとした。申請による代議員の選出基準について意見が交わされ、各支部の代議員定数の上限内である場合、解剖学教育・研究に関わる通算10年以上の正会員で、①医・歯学部の解剖学専任教員の場合は准教授以上、②①以外の学部・学科等の場合は教授、③上のいずれにも該当しない場合は、理事会での意見や日本解剖学会でのこれまでの貢献を総合的に判断し、理事会の決議に委ねることとした。
7. 学会センタービル契約解除について（庶務）
資料に基づき、事務局より、賃貸契約解除に向けて学会センタービルに保管している資料や書類などの整理状況が報告された。事務局で廃棄の判断が難しい一部の資料や書類の処分に関しては、常務理事が実際に立ち会いの下、判断することとした。
8. 解剖学雑誌バックナンバー購入について（編集）
資料に基づき、学会事務局に在庫のない解剖学雑誌1～54巻についての東亜ブックからの販売の提案に関して、前回常務理事会以降に行った再交渉での東亜ブックからの再提案内容が報告された。学会としての保管の意義と保管場所などに関して議論され、購入の可否に関して理事会に諮ることとした。
9. 学会ロゴマーク投票結果について（企画渉外）
資料に基づき、学会ロゴマークに対する会員によるオンライン投票の結果が報告され、審議の結果、最多得票のロゴマーク案の選定が承認された。
10. 平成26年度解剖組織技能士功労賞について（企画渉外）
資料に基づき、平成26年度解剖組織技能士功労賞申請者が1名承認され、理事会で決議することとした。
11. 鶴見大学、ならびに佐藤哲二先生への感謝状贈呈について（企画渉外）
資料に基づき、一級解剖組織技能士資格審査試験へのこれまでの協力に対して、鶴見大学歯学部解剖・組織細胞学講座の佐藤哲二教授ならびに同講座に、平成27年度定時社員総会において感謝状盾を贈呈することが提案され、審議の結果承認された。
12. 2018(平成30)年度総会・全国学術集会開催校について（企画渉外）
資料に基づき、平成30年度第123回日本解剖学会総会・全国学術集会の開催希望の届け出状況が説明され、審議の結果、日本医科大学（会頭予定者：小澤一史先生；副会頭予定者：瀧澤俊広先生）が承認された。
13. 技能士の名称について（企画渉外）
資料に基づき、技能士の名称について慎重に情報を収集し再変更の可能性を検討していることが説明され審議を行った。その結果、平成28年度定時社員総会での名称変更を目指して引き続き検討していくことになった。
14. 特別事業積立金について（会計）
資料に基づき、第120回全国学術集会で開催予定の日韓・日中シンポジウムでの2名の演者の招聘費用（韓国・中国1名に対して15万円（航空運賃・宿泊費）ずつ計30万円）の特別事業積立金からの拠出について説明され、審議の結果、承認された。
15. 事務委託契約について（会計）
資料に基づき、一般財団法人口腔保健協会への事務委託に関する平成27年度の再契約内容が説明され、

審議の結果、了承された。

16. 平成27年度事業計画案について（理事長）

資料に基づき、河田理事長より平成27年度事業計画案の内容が説明され、了承された。

17. 平成27年度仮予算書案について（会計）

資料に基づき、平成27年度仮予算書案の内容が説明され、承認された。

18. 文部科学省によるアイヌ遺骨問題検討に対する解剖学会の対応について（理事長）

資料に基づき、平成26年6月13日に閣議決定された『アイヌ文化の復興等を促進するための「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する基本方針について』についての経緯が説明され、文部科学省で今後開催が予定されているアイヌ政策会議の作業部会への日本解剖学会の立場について議論された。解剖学会としては、十分な議論と意見を集約したうえで慎重に対応していくこととした。

19. その他

特になし。

20. 常務理事会の日程の確認

平成27年度第1回 1月24日（土）11：00～13：30 @八重洲ダイビル

平成27年度第2回 3月20日（金）14：00～16：00 @神戸国際会議場